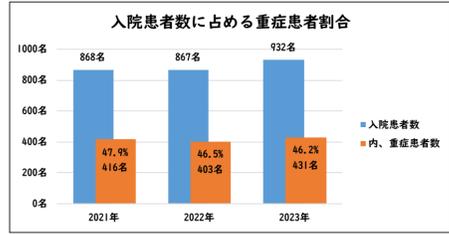


診療実績データ

入院患者数、重症患者数

	2021年	2022年	2023年
入院患者数	868名	867名	932名
内、重症患者数	416名	403名	431名
重症患者割合	47.9%	46.5%	46.2%

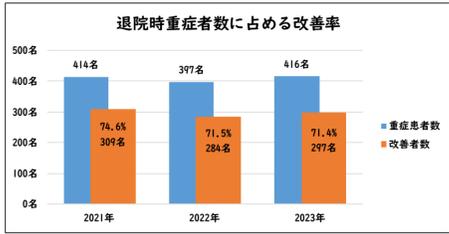


重症患者とは？

食事摂取や衣服の着脱、トイレ動作など患者様が日常生活で必要とする機能の状態を示す評価（日常生活機能評価）が10点以上の方のことです。総得点は0～19点で評価され、得点が高いほど自立度が低くなります。

退院した重症患者のうち、日常生活機能評価が4点以上改善した重症患者の割合または、FIMが16点以上改善した重症患者の割合

	2021年	2022年	2023年
重症患者数	414名	397名	416名
改善者数	309名	284名	297名
改善率	74.6%	71.5%	71.4%



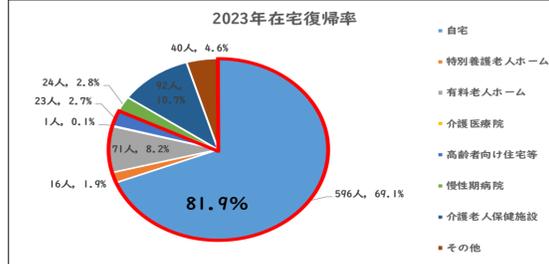
FIMとは？

「Functional Independence Measure」の略語で、日本語では「機能的自立度評価法」という意味になります。FIMの評価項目は、運動項目と認知項目の計18項目で、各項目を1点～7点の7段階で評価します。コミュニケーションや社会的認知などの認知項目を含むため、実際に日常生活で行っている動作を評価する、変化を確認するのに最適な評価方法です。

在宅復帰率（退院先内訳）

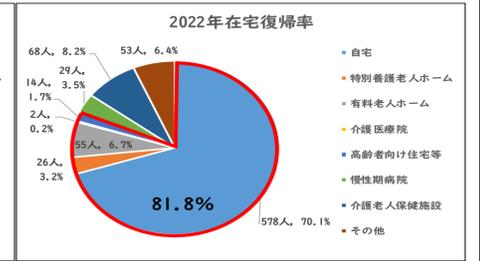
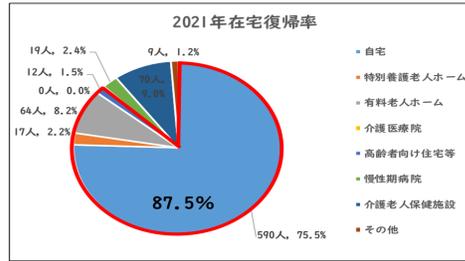
退院先	2021年		2022年		2023年	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
自宅	590人	75.5%	578人	70.1%	596人	69.1%
特別養護老人ホーム	17人	2.2%	26人	3.2%	16人	1.9%
有料老人ホーム	64人	8.2%	55人	6.7%	71人	8.2%
介護医療院	0人	0.0%	2人	0.2%	1人	0.1%
高齢者向け住宅等	12人	1.5%	14人	1.7%	23人	2.7%
慢性期病院	19人	2.4%	29人	3.5%	24人	2.8%
介護老人保健施設	70人	9.0%	68人	8.2%	92人	10.7%
その他	9人	1.2%	53人	6.4%	40人	4.6%
合計	781人	100.0%	825人	100.0%	863人	100.0%
在宅復帰 合計	683人	87.5%	675人	81.8%	707人	81.9%

その他：他科への転棟など



在宅復帰率の計算方法

$$\text{在宅復帰率} = \frac{\text{退院先が自宅・居宅系施設等}}{\text{回復期リハビリテーション病棟からの退院患者数 (一般病棟への転院患者を除く)}}$$



実績指数（6か月集計）

2021/4～2021/9	2021/7～2021/12	2021/10～2022/3	2022/1～2022/6	2022/4～2022/9	2022/7～2022/12	2022/10～2023/3	2023/1～2023/6	2023/4～2023/9	2023/7～2023/12
51.0	52.0	51.6	50.4	51.9	52.5	51.0	50.4	51.9	55.7



実績指数とは

ADLの評価法の1つであるFIM（機能的自立度評価法）を用いて、入棟期間中にFIM運動項目がどれだけ改善したかを指標化したものです。入院している期間が短いほど、また、ADLの改善度が大きいほど実績指数は高くなり、数値が高い病院ほど、短期間で効果の高いリハビリテーションを提供する病院と言えます。2016年の診療報酬改定で導入され、当院が届出をしている施設基準「回復期リハビリテーション病棟入院料1」では2020年の診療報酬改定で、実績指数が40以上であることが要件とされています。また、実績指数は下記の計算方法で表すことができます。

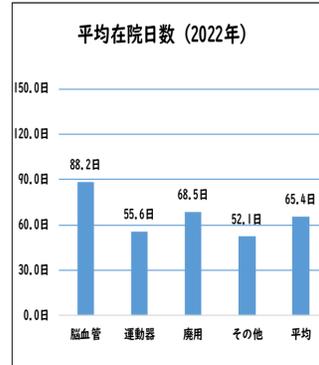
$$\text{実績指数} = \frac{\text{退院時のFIM運動項目の得点} - \text{入院時のFIM運動項目の得点}}{\text{各患者の入棟から退棟までの日数} \div \text{患者の入棟時の状態に応じた算定上限日数}}$$

ADLとは

「Activities of Daily Living」の略語で、日本語では「日常生活動作」という意味になります。日常生活を送るために最低限必要な日常動作で、「起居・移乗・移動・食事・更衣・排泄・入浴・整容」といった動作のことです。

平均在院日数

	2022年	2023年
脳血管	88.2日	82.5日
運動器	55.6日	54.7日
廃用	68.5日	76.0日
その他	52.1日	78.4日
平均	65.4日	64.6日



疾患別入院割合

	2022年	2023年
脳血管	39.5%	38.2%
運動器	47.7%	48.7%
廃用	10.0%	11.0%
その他	2.8%	2.1%
合計	100.0%	100.0%

